

# 業務瓦版

2011年11月14日

第 3 号

JR東海労新幹線地本  
業 務 部

## 「東京駅日本橋口コンコースにおける天井ボードの一部落下事故に関する申し入れ」で業務委員会開催！

2011年9月1日に発生した、東京駅日本橋口コンコースにおける天井ボードの落下事故について新幹線地本は、今回は幸いにも負傷者がいなかったが、まかり間違うとお客様を含めて負傷者が発生しかねない重大な事故であり、原因究明と再発防止対策を求めて申し入れを行いました。そして10月27日、業務委員会で議論を行いました。

## 点検口の上に設計図にないボードが？ 会社は安全管理を万全にしろ！

< 主な議論 >

組合：落下したボードはどういう構造だったのか。

会社：点検口の上に橋渡しのように架けてあるもの。そのボードが割れて点検蓋の上に乗っかり、重みで点検蓋が開いて落下した。

組合：何のためのボードなのか。

会社：工具などを置く可能性があるが、点検蓋の上に置いて蓋が落ちないように、点検蓋の上に橋渡しのように載せているものである。

組合：撤去忘れなのか、常時設置されているものなのか。

会社：撤去忘れではない。設計上はないものだが、片側を針金で固定している。

組合：ボードが割れた原因はなにか。

会社：おそらく、余震の影響ではないか。ケイ酸カルシウムが素材であり、金属などに比べて軽いが衝撃に弱い。

組合：ケイ酸カルシウムのボードは天井に使う場合は、下地を寸法採りして使うものではないのか。

会社：ただ置いたというもので、構造上どこかにはめるという使い方をしていただけではない。

組合：便宜上置いたということか。

会社：そうである。

## 点検蓋は年内に改良することを確認！

組合：点検は定期的に行っているのか。

会社：年に1回は下から開けて点検している。あとは目視による点検を年3回、多客期に行なっている。

組合：点検蓋のフックの強さに問題はなかったのか。

会社：構造的には、バネが開く力を利用して止まっている。開ける際は下から引っ張るだけ。バネが開く力よりも強い力が掛かると落ちてしまう。

組合：対策としては今より強いフックなどで止めるということが必要ではないのか。

会社：今やっている対策はボードを撤去し、点検蓋を下側からガムテープで止めてある。恒久的対策としては、上に開けるタイプに変更の設計をしている。

組合：いつまでにできるのか。

会社：年内にはと考えている。

組合：7箇所もあるということだが、物を置くだけでなく天井を歩いたりしないのか。

会社：歩くところは決まっており、そこには人が乗るというものではない。

組合：こういう素材を使っているのは会社の指定なのか、業者の判断なのか。

会社：もともと設計上あったものではなく、詳細な由来はわからない。

組合：7箇所は日本橋口のみか。他に落下の危険はないのか。

会社：日本橋口のみ特別な設計で、他は構造が違う。

組合：余震の影響ということだが、東京駅全体で他に影響があった箇所はないのか。それらの点検は行ったのか。

会社：天井をすべて点検するというのは難しい。躯体や柱は点検している。多客期前の年3回は点検している。

## 会社は重大事故という認識を持ち、労働組合に説明しろ！

組合：発見者は誰か。

会社：お客様が「落ちてきましたよ」と警備員に連絡してきた。

組合：近くに旅客がいたのか。危なかったということか。

会社：8時26分ごろですから普通に人の流動はある。当たらなかったというのはそういう意味では良かったというのはある。

組合：組合への説明については「必要に応じて」と、いつも同じ答えだが、今回の事故は重大な事故だと認識しているのか。

会社：お客様の怪我に発展する可能性があったということは会社も認識している。

組合：ではなぜ組合に対応しないのか。

会社：そこは個別の判断である。

組合：答えになっていない。今後は組合にしっかり説明するよう強く要請する。

以上

### 【会社回答は別紙を参照してください】

\*私たち新幹線地本は職場の組合員・社員の声をもとに、安全で働きやすい労働条件および職場環境の改善に向けて、今後も会社に申し入れを行い問題解決に向け協議していきます。問題点や要望事項等があればJR東海労新幹線地本までお知らせ下さい。

## J R 東海 労「幹地申第4号」に対する会社回答

2011年10月27日  
業務委員会開催

### < 東京駅日本橋口コンコースにおける天井ボードの一部落下事故に 関する申し入れ > (2011.9.20付)

2011年9月1日8時26分頃、東京駅日本橋口のコンコース天井（高さ：約4.7m）の点検蓋が開き、点検蓋の上にあった白色のボードの一部が落下したということが、会社のプレス発表で明らかになった。

今回の事故は幸いにも負傷者がいなかったが、まかり間違うとお客様を含めて負傷者が発生しかねない事故であり、原因の究明と再発防止対策を構築しなければならないと認識する。よって以下について申し入れるので早急に協議の場を設定し、誠意ある回答をすること。

#### 記

#### 1. 今回の事故について詳細に明らかにすること。

##### 【会社回答】

2011年9月1日8時26分頃、東京駅日本橋口のコンコース天井の点検蓋が開き、点検蓋の上にあった白色のボードの一部が落下した。なお、落下地点には誰もおらず、お客様等にお怪我はなかった。

#### 2. 今回の事故原因について詳細に明らかにすること。

##### 【会社回答】

破損していたボードの重みで点検口の蓋が開き、白色ボードの一部が落下したと思われる。

#### 3. 再発防止対策について明らかにすること。

##### 【会社回答】

当該箇所については緊急検査を9月1日に行った。なお、当該箇所を含む同様の7箇所については、当日中にボードを撤去した。

#### 4. このような重大な事故が発生した際は、速やかに労働組合に説明すること。

##### 【会社回答】

必要に応じて対応する。

以上